



平成 30 年 7 月 2 日

各 位

会 社 名 日本空港ビルデング株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員兼COO 横田 信秋
(コード番号 9706 東証第1部)
問 合 せ 先 常務取締役執行役員企画管理本部長 田中 一仁
(TEL. 03-5757-8409)

(開示事項の経過) 子会社の設立に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 11 日付適時開示「子会社の設立に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、平成 30 年 7 月 2 日に子会社の設立手続きを完了しましたので、お知らせします。

記

1. 設立の目的

羽田空港の旅客数は年間 8,500 万人を超え、世界第 4 位、日本最大の規模を誇ります。
2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催もあり、空港ならびに周辺エリアの開発・活用が急速に進んでおり、羽田空港を取り巻く事業環境は大きく変化しつつあります。

「公共性と企業性の調和」の基本理念のもと、これまで羽田空港で培った経験とノウハウをより広範囲に活用するとともに、外部の知見を活かしてさらなる事業領域を拡大する必要から、「株式会社羽田未来総合研究所」を設立する運びとなりました。

2. 子会社の概要

- | | |
|-------------|--|
| (1) 会社の商号 | 株式会社 羽田未来総合研究所 (企業ページ URL : www.hfri.co.jp/)
(英文名称 : Haneda Future Research Institute Inc.) |
| (2) 資 本 金 | 50 百万円 |
| (3) 株 主 | 日本空港ビルデング株式会社 (100%) |
| (4) 設 立 日 | 平成 30 年 (2018 年) 7 月 2 日 |
| (5) 代 表 者 名 | 代表取締役社長 大西 洋
(注) 代表者は当社の取締役副社長執行役員と、新会社の社長を兼務します。 |
| (6) 本店所在地 | 東京都大田区羽田空港三丁目 3 番 2 号 |
| (7) 事 業 内 容 | 既存の空港運営事業のさらなる価値向上、新規事業モデルの開発、シンクタンクとしての機能発揮 |

3. 業績に与える影響

本件による当社の平成 31 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

4. 今後の見通し

アートや文化などをオリンピック後の日本経済を支えていくジャンルとして位置づけ、羽田空港というロケーションの優位性を前面に押し出し、全国の自治体等と羽田空港とを繋ぎ、地域再生や地域創生を展開する一方、優れた日本製品やアート、日本文化を海外へ発信していくを試みます。また、時代の求める人財教育も手掛けてまいります。

「未来の旅」や「未来の空港」が私たちの生活をどう変えていくのか。最先端技術やベンチャー企業の動向にもアンテナを張り、シンクタンクとしての機能を十分に発揮しつつ、新たなライフスタイルの提案など、日本の未来予想図を具体的に提案してまいります。

以 上